

TALK IN JAPANESE FOR 6 WEEKS

WEEKLY

日本語で話す 6週間

book 1

CD
2枚付



はじめに

近年、学習者の多様化が進み、私たちの学校にはいわゆる欧米型語学留学の学習者が増えています。欧米型語学留学とは、留学ビザを取得して来日する長期留学ではなく、大学生、高校生、ビジネスマン、起業家、旅行者などが数週間単位での語学学習を目的に在籍する留学の形態です。私たちは、そのような学習者のために、その日その日の目標、つまり「今日の授業で何ができるようにするのか（Can-do statements）」ということが明確なカリキュラムを準備し、それに合わせた教材を作成しながら授業を行ってきました。そしてその試行錯誤の過程を経て、この度、テキストの完成に至りました。

このテキストの考え方の基本になっているのは CEFR (Common European Framework of Reference for Languages) で、学習者と受け入れ側の学校・教師が共通のスケールを持つことによって、母国や他の教育機関での学習を継続して行えるようになりました。

このテキストは、CEFR で言うところの A2 から B1 初めの学習者をターゲットに、コミュニケーション能力を伸ばすことに重点を置いて、「勉強したけれど話せない」「文法は知っているけどいつ使ったらいいかわからない」「自然な日本語って何？」と思っている人が短期間で会話ができるようになることを目指したテキストです。

ですから、海外から日本に留学する人のみならず、学習背景が多様な日本在住の地域の方々や、海外で日本語を学ぶ中でより自然な会話力をつけたいと願っている皆さんにも役立てていただけたと思っています。

【主な使用対象者】

- ・ CEFR の A2 ～ B1 初めのレベルの学習者
- ・ 自然な日本語を使って、会話ができるようになりたい人
- ・ 「伝えたいこと」ごとに、文型・表現・語彙を学びたい人
- ・ 初級文型を学び直しながら、運用力を身につけたい人

私たちは日常会話で、文型を使うために話題を考えるとということはありません。自分の「伝えたいこと」を伝え、相手の「伝えたいこと」を理解し、コミュニケーションをとっています。このテキストでは「何を伝えるか」を前面に出し、「伝えたいこと」があって、それを支えるのが「文型」「表現」「語彙」であると考えています。トピックの中で、自分が「伝えたいこと」を日本語で表現するためにどんな「文型」「語彙」が必要かを学習者自身が考え、選び、学んでいきます。文法積み上げではなく、そのトピックについて話すときに必要と思われる文型、語彙、表現を効果的に学習していけるようになっています。

多くの日本語を必要とする皆さんに活用していただけたら大変うれしく思います。私たちは日本語でのコミュニケーションの輪が広がり、皆さんの新たな可能性につながる第一歩になることを願っています。

テキスト作成にあたって、出版まで導いてくださった凡人社編集部、渡辺唯広編集長と大橋由希さんにこの場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

このテキストの使い方

●このテキストの構成と使い方

このテキストは30の「Unit (ユニット)」でできています。各ユニットは、トピックで構成されているので、文型、表現が複数の課で繰り返し出てきます。いろいろなトピックで何度も学んでいくことで、その文型、表現の持つ機能を正確に身につけることができます。

1ユニットの学習時間の目安は120分です。1週間に5つのトピック、6週間で30のトピックが学べます。

目次で示した順番は、トピックとタスクの偏りがないように並べたものです。しかし、文型は繰り返し出てくるので、どの課からでも始めることができます。例えば、タスク別や話題／機能別に並べ替えて学習することもできます。

【タスク別に学ぶ】

ある程度まとまった文を発表したり、話したりする「まとまりで話す ㊸」と、相手と会話をしながらタスクをこなす「会話をする ㊹㊺」の2つのタイプがあります。目次に示したアイコンを参考に、進めてください。

【話題／機能別に学ぶ】

目次のサブタイトルを参考に、進めてください。

また、学習者レベルに応じて、練習の内容や方法を変えてください。

●各ユニットの構成と使い方

①【答えてみよう】

トピックに関連する質問に、今持っている実力で答えてみます。その際に、言いたいことがうまく言えない、うまく表現できないというつまづきがあります。これを学習者自身が感じることで大切です。

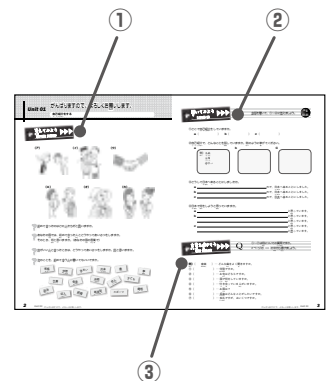
②【聞いてみよう】

自然な会話を聞き、【答えてみよう】でうまく言えなかった表現に気づきます。ポイントとなる文型、表現を聞き取ります。スクリプト (別冊) は会話例として使用することもできます。

③【言葉を増やそう】

レベルに関係なく、その話題で使用する可能性の高いものを学びます。

* なお、凡人社のウェブサイト (<http://www.bonjinsha.com/>) から「語彙リスト」がダウンロードできます。



④ 【文型】

【聞いてみよう】で聞き取ったものを取り出して、その文型のポイントを確認します。

⑤ 【会話の達人】

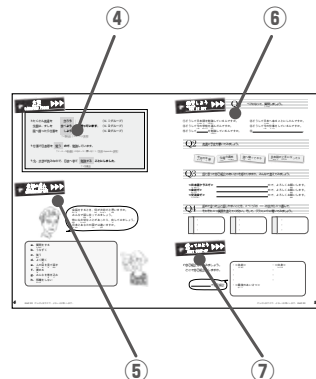
一方的に「伝えたいこと」を話すだけではなく、相手の「伝えたいこと」を上手に聞く方法、うまく会話を続ける方法など、自然な日本語の会話テクニックを学びます。

⑥ 【練習しよう】

文型 表現を確認、練習します。トレーニング（⑧【Training 01-30】）として使う課もあります。

⑦ 【使ってみよう】

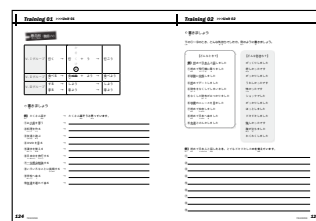
練習だけでなく、実際に自分自身のことを話してみます。【聞いてみよう】のスク립ト（別冊）を参考に話すこともできます。【会話の達人】で示しているようなテクニックが取り入れられると、より自然になります。最初の【答えてみよう】でうまく答えられなかったことが、上手に話せるようになっている達成感から、より確実な定着を目指します。



⑧ 【Training 01-30】 (pp.123-154)

「伝えたいこと」を伝えるには、文法や語彙の正確さが求められます。ここでは、コミュニケーションとは別のタイプの「Training (トレーニング)」で文型の定着を図ります。巻末に、各ユニットのトレーニングシートがあります。活用や接続、助詞といった文法事項に気をつけて書くことにより、定着を図ります。

また、教室では、イラストや文字カードなどを使用して、口頭で動詞や形容詞の活用練習などをします。実際のコミュニケーションで使うときに、活用の間違いや言い間違いがなないように、反射的に正確に言えるようになるまで繰り返し行うことに効果があります。トレーニングをこなす時間や数など、学習者のレベルに合った目標を設定し、徐々にレベルを上げていくことで、達成感を感じトレーニングの目的を意識するようにします。口頭トレーニングの方法は、凡人社のウェブサイト (<http://www.bonjinsha.com/>) に例を挙げています。



⑨ 別冊

「聞いてみよう」「練習しよう」のCD スクリプトと、「聞いてみよう」「言葉を増やそう」「練習しよう」【Training 01-30】の解答例を収録しています。また、「付表 (Appendix)」があります。

学習者が日本社会で実際に話題にする 30 の題材を使用しています。ですから、1 つのユニットを勉強すると、そのトピックについては、上手に話せるようになり、教室の外でも日本人と話をすることができるようになります。それが、さらに学習を進めるためのモチベーションになると考えています。

目次 Contents

week 1

Unit 01	☺	がんばりますので、よろしくお願ひします。 ねが [自己紹介をする] じ こしょうかい	・Vう／ように思っています おも ・～ので ・Vことにしました	p.2
Unit 02	☺	初めて日本人と話したとき、ドキドキしました。 はじ に ほんじん はな [いろいろな気持ちを表現する] き も ひょうげん	・(名詞修飾) とき めい し しゅうしよく ・～のを覚えています おぼ	p.6
Unit 03	☺☺	お金が足りるかどうか、心配でした。 かね た しんぱい [こんなとき、どうする?]	・～か／～かどうか ・Vてあげます／ Vてもらいます ・～たら	p.10
Unit 04	☺	浅草のお寺は1400年前に建てられたんですよ。 あさくせ でら ねんまえ た [自分の国のお勧めの場所・物を紹介する] じ ぶん くに すす ばしょ もの しょうかい	・Vことができます ・受身(無生物) うけみ むせいぶつ ・Nのようだ	p.14
Unit 05	☺☺	漢字の読み方がわからないんですが…。 かん じ よ かた [方法をたずねる・わからないことを聞く] ほうほう き	・～方(やり方) かた ・疑問詞Vたらいいですか ぎもんし きもんし ・～って何ですか なん ・～ことです	p.18

week 2

Unit 06	☺☺	やったー! 勝った! か [状況を聞く] しょうぎょう き	・どうしたんですか ・～んです ・疑問詞～んですか ぎもんし	p.22
Unit 07	☺	操作が簡単で、使いやすいんです。 そう せ かんたん つか [いい物を人に勧める] もの ひと すす	・Vと ・Vやすい／にくい ・～て (理由) りゆう ・～そうだ (状態) ようたい	p.26
Unit 08	☺☺	大変そうですね。手伝いましょうか。 たいへん て つか [自分から申し出る] じぶん もう で	・～そうですね (状態) ようたい ・Vましょうか ・Vてみませんか ・Vなければならない	p.30
Unit 09	☺	子どものときに、はやっていた遊びは、 こ あそ ローラースケートです。 [子どものときのことについて話す] こ はな	・N修飾 しゅうしよく ・Vようになりました ・Vなくなりました ・Vていました (習慣) しゅうかん	p.34
Unit 10	☺☺	すみません、予約をしたいんですが…。 よやく [予約をする] よやく	・Vたいんですが ・Nがいいんですが	p.38

week 3

Unit 11	☺	頑固なところが似ています。 [身近な人を紹介する] [かん こ に かい わ ちか ひと しょうかい]	・Vのが好きです ・A・N接続 ・～ところが似ています	p.42
Unit 12	☺	外国語を勉強するなら、その国の先生に習うほうがいいと思います。 [意見を言う] [がいこくご べんきょう くに せんせい なら おも い けん い]	・～し、～し、～と思います ・～んじゃないかと思います ／～んじゃないでしょうか ・～ので／～のに	p.46
Unit 13	☺☺	帽子をかぶったまま、部屋に入っではいけません。 [国のルールやよくないと言われていることについて話す] [ぼうし へ や はい くに ルール や よく ない と い わ れ て い る こ と に つ い て はな ぶ]	・Vたまま ・Vてはいけません ・Nなら、Vてもいいです ・VてV ・もしVたら、Vなければなりません	p.50
Unit 14	☺	携帯電話をトイレに落としてしまったんです。 [失敗談を話す] [けいたいでん わ お しゃいばい はん はな]	・Vてしまいました (後悔) ・Vようにします	p.54
Unit 15	☺☺	震度6だったそうですよ。 [聞いた話をもとに人に伝える] [しん ど き はなし ひと つた]	・～そうだ (伝聞) ・～らしい ・～といいですね	p.58

week 4

Unit 16	☺	送ってくれて、ありがとう。 [うれしかった思い出を話す] [おく うれ しか った おも い で はな]	・Vてくれました ・Vてくれて、ありがとう	p.62
Unit 17	☺	赤いセーターを着ている人は誰ですか。 [写真を説明する] [あか き ひと だれ しゃしん せつめい]	・～とき (名詞修飾) ・V (装着) ている人 ・～そんな人	p.66
Unit 18	☺☺	借りた本を持ってくるのを忘れてしまいました。 [謝る] [か ほん も わす れ て し ま い ま し た あやま]	・Vてしまいました (後悔) ・Vのを忘れた ・Vて、すみません ・Vばよかったです	p.70
Unit 19	☺☺	バランスよく食べないと、体に悪いですよ。 [相手に忠告する] [ばらん す よく たべ ないと、た かに わる い て ちゅうこく]	・Vと ・NしかVません ・NばかりVていると ・Vたほうがいいです ・Vたらどうですか	p.74
Unit 20	☺☺	今、ちょうど電車で乗るところなんです。 [電話をする] [いま でんしゃ の でん わ]	・Vところで ・～と伝えてください	p.78

Unit 21	☺	誰かに傘を間違えられました。 [状況を聞く・答える] だれ かさ ま ちが しょうきょう き こた	・受身 ・Vなくても大丈夫です ・Vたほうがいいです ・Vたらどうですか	p.82
Unit 22	☺	日本へ来てから、運動しなくなりました。 [日本へ来てから変わったことについて話す] に ほん き うんどう に ほん き か はな	・Vようになりました ・Vなくなりました ・Vています ・VたりVたりしています	p.86
Unit 23	☺	海が見えて、雰囲気がいいんです。 [好きな場所を紹介する] うみ み ふん い き す ば しょ しょうかい	・Vてあります ・見えます／聞こえます ・VたりVたりします	p.90
Unit 24	☺☺	温泉へ行こうと思っているんです。 [経験に基づいてアドバイスする] おんせん い おも けいけん もと	・Vたことがあります ・Vようと思っています ・～し、～し、	p.94
Unit 25	☺☺	電車の中でケータイを使わないでほしいです。 [相手に苦情、文句を言う] でんしゃ なか つか あいて くじょう もんく い	・Vてほしいです ・Vないでほしいです	p.98

Unit 26	☺	お酒を飲むと、頭が痛くなるんです。 [自分の体質について説明する（誘い・依頼を断る）] さけ の あたま いた じぶん たいしつ せつめい さそ いらい ことわ	・Vと、～んです ・Vすぎる ・Vことがあるんです	p.102
Unit 27	☺	日本語が上手になったと言われて、うれしかったです。 [うれしかったこと、嫌だったことについて話す] に ほん ご じょうず い うれしかったこと、嫌だったことについて話す いや はな	・受身 ・～と言われて、うれしかったです	p.106
Unit 28	☺	買いたい物があるんですが、日本語の名前がわからないんです。 [名前がわからない物を説明する] か もの に ほん ご なまえ なまえ がわからない物 説明する もの せつめい	・（名詞修飾）ときに、使います ・Vています ・Nのようだ	p.110
Unit 29	☺☺	事前に予約をしておいたほうがいいですよ。 [準備の相談をする] じぜん よやく じゅん び そうたん	・Vておきます ・Vておいたほうがいいです ・Vように／Vないように	p.114
Unit 30	☺☺	5人以上って書いてあるんですが…。 [問い合わせる] にん い じょう か と あ	・～って書いてあるんですが ・疑問詞＋Vたらいいですか	p.118

Training 01-30 **p.123**

別冊：(CD 音声スクリプト／解答例／付表)
べっさつ おんせい かいどうれい ぶひょう